

株主の皆様へ

第58期 報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日

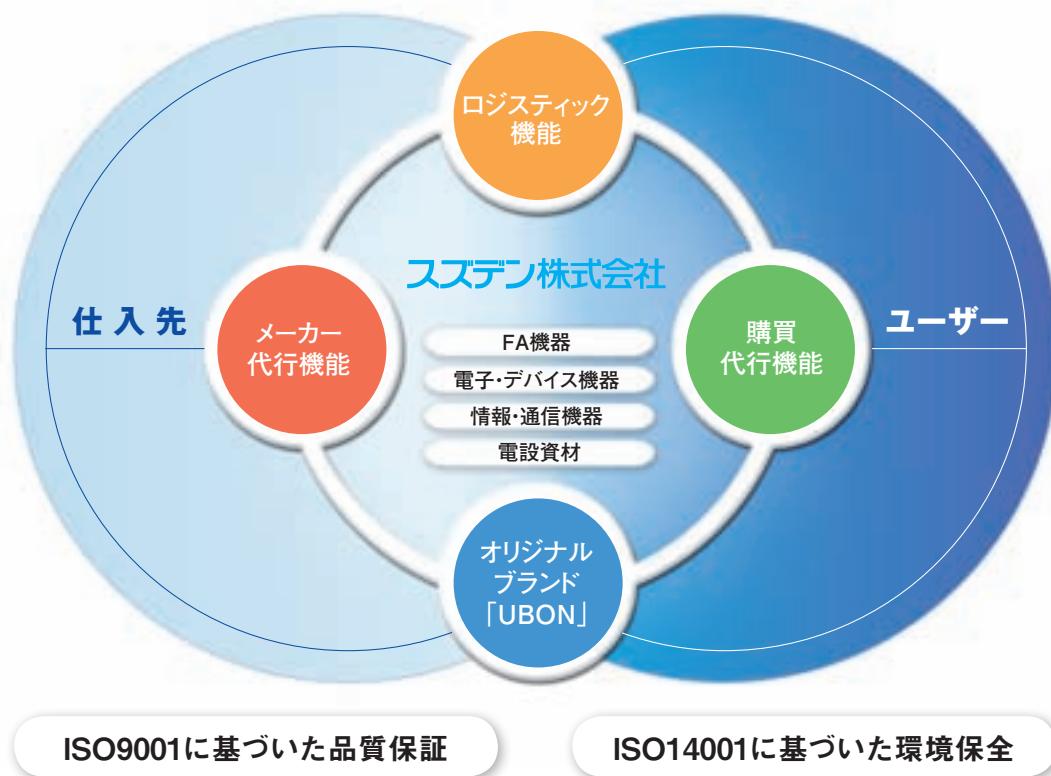
SUZUDEN CORPORATION  
BUSINESS REPORT 2010



# もの造りサポーターティングカンパニー

当社は、FA機器、電子・デバイス機器、情報・通信機器、電設資材等の国内有力メーカー約1,000社の仕入先と、さまざまな業界の約5,000社を超えるユーザー企業を結び、もの造りに不可欠なトータルソリューションを提供する技術商社です。

当社のシステムエンジニアによる技術支援を柱に、高機能商品・システムのご提案やアプリケーションソフトのご提供をメーカーに代わって行う「メーカー代行機能」、独自の情報・物流システムで構成される「ロジスティック機能」、お客様の一括購買を代行する「購買代行機能」、お求めやすい価格・小ロット購入にお応えするオリジナルブランド「UBON」などの機能を最大限に発揮し、広くもの造りの現場に貢献しています。





代表取締役社長  
佐々木 秀明

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに第58期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の報告書をお届けいたします。

当期は、主力顧客であります電気機器・電子部品・産業機械業界において、第3四半期から半導体・液晶製造装置メーカーの生産回復が鮮明となり、その他の業界の生産も回復基調とはなったものの、依然厳しい状況が続きました。

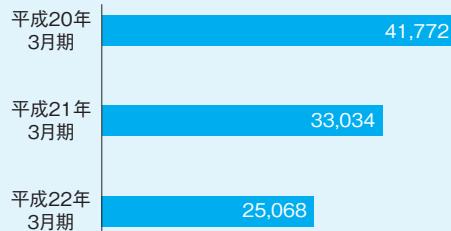
このような環境のもと、人件費の削減等の緊急対策をはじめ、さまざまな施策を実施してまいりましたが、減収減益となり、当期末の配当を見送りさせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

当社は、「もの造りサポーターカンパニー」という原点に立ち、新しい発想とアプローチで今後も顧客満足度向上のための施策を継続・発展させるとともに、「リバース・スズデン」をキーワードとして、さらなる販売力強化と商品や販路の拡大、収益構造の変革等を継続してまいります。

株主の皆様には、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 連結決算ハイライト

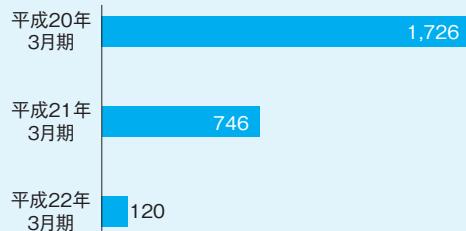
### ● 売上高 (単位:百万円)



### ● 営業利益 (単位:百万円)



### ● 経常利益 (単位:百万円)

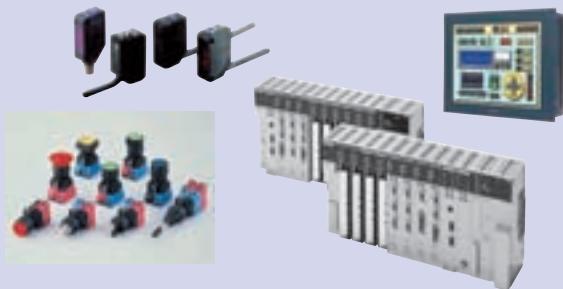


### ● 当期純利益 (単位:百万円)



# FA機器

制御機器、センサー、PLC、表示機器、コントロール機器等の販売が大幅に減少し、売上高は130億10百万円(前期比24.9%減)となりました。



売上高

**13,010** 百万円  
(構成比 51.9%)



当期売上高  
**25,**

組込用ボードコンピュータ、パソコン本体、システムラック等が大幅に減少し、売上高は23億22百万円(前期比29.8%減)となりました。



(構成比 9.2%)

売上高

**2,322** 百万円

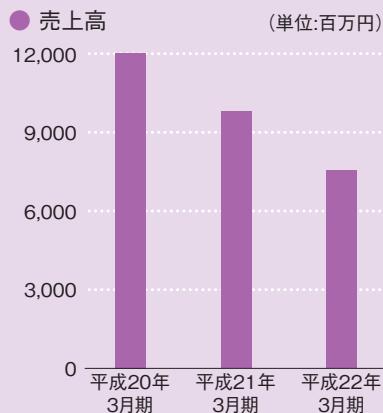
# 情報・通信機器

売上高

7,587 百万円

(構成比 30.3%)

# 電設資材



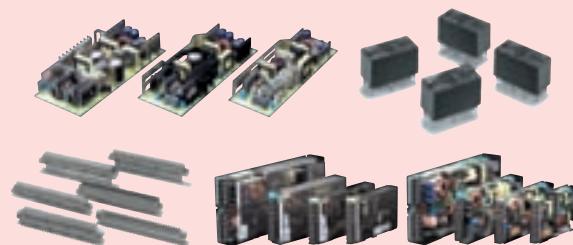
ケーブルアクセサリ、電線・ケーブル、工事材料、ボックス等が大幅に減少し、売上高は75億87百万円(前期比23.5%減)となりました。



068 百万円



コネクタ、基板搭載用電源等が大幅に減少し、売上高は21億48百万円(前期比13.4%減)となりました。



(構成比 8.6%)

売上高

2,148 百万円

# 電子・デバイス機器

# 社は「誠実」のもと、誠実にお客様の ～付加価値の高いサービスにより、お客様の「もの造り」をサポート～



## ■ 当期（平成22年3月期）について

### 景気は確実に回復、来期も回復基調を堅持

**Q** 未曾有の不況の時期に新社長に就任され、初めての決算を迎えられました。決算前に業績の上方修正もされましたが、景気は回復しているとお考えですか？

**社長** 当期の売上は昨年5月が底で、そこから緩やかに回復してきました。年末からはさらに加速し、本年3月の売上が当期最高となりました。特にFA機器と電子・デバイス機器分野が順調です。お客様のお話や各種指標から考えて、来期もこの回復基調は変わらないだろうと予測しています。

### “リバース・スズデン”をキーワードに 経営体制と営業体制を改革

**Q** 業績が回復した要因は、市場動向だけではないと思います。社長就任と同時に掲げられた“リバース・スズデン”をキーワードに、さまざまな社内改革を推進してこられました。

**社長** まず1年目の当期は、考え方を社内に浸透させ、意識を統一したいと考えました。これは達成できたと思います。

# 要望に対応

その上で具体的に行ったのは、経営体制と営業体制の改革です。

まず経営に関しては、昨年4月から取締役会の権限を大幅に執行役員会に委譲し、日常の経営判断を執行役員会で行えるようにしました。これにより、迅速な経営判断が可能になり、市場環境の変化に柔軟に対応できるようになりました。

営業体制の改革には大きく2つあり、ひとつは営業所の集約です。従来3~4人程度の小規模な営業所もあったのですが、それを10人規模以上に集約しました。効率的な運営のためでもあります。同時に適材適所の人員配置が可能になりました。

営業担当者は、企画・提案が得意な人、既存顧客とのコミュニケーションを密にして堅実に売上を伸ばしていく人など、それぞれ適性があります。しかし、人が少ないと選択肢が限られるため、なかなかそれぞれの適性を生かせません。それが、営業所の人数が増えることで、ある程度各人の得意分野で力が発揮できるようになりました。これにより、全員の意識が活性化したのは、予想外の成果でした。

もうひとつの営業改革は、今後成長が見込める分野である食品、環境、リチウムイオン電池などの二次電池の3つについて、新たに業界担当を新設したことです。

当期は食品に最も力を注ぎ、スズデンの営業ス

タンドードであるマーケット活動によって、まずお客様を知る活動を行うとともに、新規顧客の獲得を進めました。営業ツールなども用意して重点的に営業活動を行った結果、一定の成果を出すことができました。

## ■ 来期(平成23年3月期)について

### 初の工場建設に取り組み、 お客様の「もの造り」をサポート

**Q** 来期は初の工場の建設・稼働が予定されています。なぜ商社が工場を持つのですか？

**社長** 商社としてもものを動かすだけでは、当社の存在意義を高めることは困難です。そこで、より付加価値をつけたいと考えました。

当社の工場が行うのは、あくまでもケーブルアッセンブリーのような組立加工であり、原料から完成品を造るわけではありません。お客様が最終製品を造るための一次加工したパーツを提供します。その意味では、従来から標榜している「もの造りサポーターカンパニー」という姿勢はまったく変わらず、むしろ強化する戦略と考えています。

## ◆ 社長インタビュー

**Q** なるほど。スケジュールは順調ですか？

**社長** 4月6日に地鎮祭を済ませ、無事着工しました。10月の完工、11月の円滑な稼働を目指してプロジェクトが動き出しています。既にプロジェクト室も仙台営業所内に設置しました。

まったく新しい分野なので、今までなかったリスクもあり困難なチャレンジではありますが、商社としてのサービスを向上させるために取り組んでいきます。

**来期、前期比25%増の売上を目指し  
営業力強化に取り組む**

**Q** 来期の見通しを教えてください。

**社長** 来期は、現在の回復基調が続き、業績も引き続き回復すると見込み、前期比で25%増の売上を目指します。

平成23年3月期の連結業績予想

(平成22年5月10日公表)

	予想値	前期比
売上高	31,400百万円	25.3%
営業利益	350百万円	—
経常利益	470百万円	289.0%
当期純利益	220百万円	135.6%

**Q** そのための具体的な対策は？

**社長** 営業面では、当期に引き続き注力分野を強化します。特に、昨年6月に立ち上げた環境ビジネス営業所を中心に、環境分野に力を入れていきます。

その際、単に環境関連製品を販売するだけでなく、付加価値のあるサービスを提供したいと考えています。

当社では、以前から「ランプ」を販売するのではなく、「あかり」という機能を販売する「あかり安心サービス」を提供しています。

通常、蛍光管等は、お客様自身で購入されて交換されますが、それを当社が貸し出すスタイルに変えます。こうすることで、お客様の資産にならず、使えなくなった蛍光管は当社が回収しますので、お客様は、蛍光管をリースのように使えてゴミも出ません。

リサイクルを含めた適正な廃棄・収集処理を当社が行うことによって、お客様の業務の効率化やゼロエミッションの実現等に貢献するサービスです。このような付加価値のあるサービスを今後も提供していきます。

サービスの拡充という面では、従来単発で実施してきたベルセミナーをメニューを増やし計画的に実施したいと考えています。また、地方のお客様でも、一定の受講者を集めていただければ、以前から行っている「出前展示会」のような「出前ベルセミナー」として、こちらから出向いていくことも考えています。

もうひとつ、小口対応のインターネット通販ショップ「FA-UBON(エフエーユーボン)」を強化することを考えています。FA-UBONは、余分な在庫を持ちたくないお客様のニーズとも合致し、売上が順調に伸びています。これをより強化し、必要に応じてインターネット上のモールや広告を活用するなど、販売促進にも取り組んでいきます。

## 組織の壁を越えて営業力を強化するため 人事評価制度を改革

### Q 組織など社内的な面ではいかがですか？

**社長** まず、コーポレート・ガバナンスを見直します。

取締役は、8名から5名に減員します。

現在取締役8名中7名が執行役員を兼務していますが、執行役員を兼務する取締役を5名中3名にし、執行役員を兼務しない社内取締役と社外取締役各1名を加え、コーポレート・ガバナンスを強化します。この社外取締役は、東京証券取引所が指定を義務付ける独立役員です。

そして、評価制度の改変を行います。

お客様の購買集約が進む中で、さまざまな部門からの多岐にわたるご要望にお応えするために、当社でも営業部門だけでなく、設計・開発部門等のさまざまな部門が携わり、総合力で「もの造り」のお手伝いを行っております。

従来、売上を計上した部門だけが評価の対象となっておりましたが、評価制度を変えることにより、携わった部門全てを評価できるようにして、組織の壁を越え、全社的に協力して営業を強化できる仕組みを整備します。

また、市場やお客様の変化に対応するため、人事制度全体も見直します。

現在「新人事制度プロジェクト」を既に立ち上げており、来期中に検討し、再来期から実施する予定です。

### Q 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

**社長** 当期は、無配という結果になり、株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

来期は、「チャレンジ -何もしないことは罪-」をキーワードに、果敢にチャレンジしていく年にしてまいります。昨年のキーワード「NOと言わずにどうしたら出来るか？」を考えよう」と、基本的なメッセージは同じです。そのベースには、創業者が掲げた「誠実」という社是があります。この「誠実」は、ものごとから逃げずに誠実にお客様の要望に対応していくことです。

全社一丸となって誠実にチャレンジし、配当性向33%を維持し、利益を上げて株主の皆様へ還元していきたいと考えております。

ぜひ、株主の皆様にはご理解をいただき、さらなるご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## トピックス

### ■ スズデン初のもの造り拠点「大和工場(仮称)」が着工

「もの造りサポートカンパニー」を標榜しているスズデンの初めてのもの造り拠点「大和工場(仮称)」が着工いたしました。

主要産業の集積が進む宮城県北部地区での工場・物流・営業の三つの機能を備えたこの新工場は、スズデンがさらに成長していくための重要な役割を担っております。

新工場では、ケーブル加工、端子台組立、電源部分等のユニット部品の組立・加工を行う予定で、より付加価値の高い製品をお客様に提供してまいります。

また、この新工場を通じて、地域の発展と活性化に貢献できるよう力を尽くしてまいります。



大和工場(仮称)完成予想図

### ■ 大和工場(仮称)の概要

所在地	宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ3番
建設面積	約3,500㎡
スケジュール	平成22年4月 着工 平成22年10月 完工(予定) 平成22年11月 稼働(予定)

### 大和町テクノヒルズ (リサーチパーク)



### ■ コーポレート・ガバナンスを強化

コーポレート・ガバナンスのより一層の強化を図るため、平成22年6月25日開催の第58回定時株主総会で社外取締役1名を選任いたしました。

また、意思決定の迅速化を図るため、取締役の員数を8名から5名に減員いたしました。

なお、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員には、社外取締役1名、社外監査役1名の計2名を選出しております。

## 環境への取り組み

# 環境に配慮した事業活動を徹底し、環境保全の輪を広げます。

当社は、「もの造りサポートカンパニー」として、地球の環境保全に取り組むことが、当社の持続的な発展のために最も重要な事項のひとつであると認識しています。

本社および物流センターは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しており、今後も当社の事業活動においてペーパーレスや廃棄物の低減などの取り組みを継続していきます。また、多くの企業に環境保全を広める活動として、販売活動や商品・サービスを通じて環境問題に取り組んでいきます。

### ■「事業活動」の中から発生する「エネルギー」、「ペーパー」、「廃棄物」の量を低減し、リサイクル社会に貢献

- 事業活動の環境への影響を評価し、環境負荷低減を推進
- 商品・サービスの環境への配慮

### ■地球温暖化抑制に係わる活動推進

- アイドリングSTOPの徹底
- 物流活動における環境負荷低減（通い箱納品の推進等によるエコ物流の実現）
- 「チーム・マイナス6%」への参加

### ■既存事業の環境への配慮

- リサイクル活動の推進
- 廃家電・小型二次電池リサイクル活動の推進

環境負荷の低減と  
環境マネジメントの徹底

「ISO14001」認証取得  
・認証取得日  
平成14年3月13日  
・適用範囲  
本社および物流センター

## 業務に対する取り組み

## 販売商品・サービス事業に対する取り組み

### ■「環境配慮型商品」を販売することで環境負荷を低減します。

- 新規事業の環境への影響を評価
- 商品・サービスの環境への配慮

### ■「循環型機能商品」として

スズデン「安心サービス&サポート」をご提供します。

環境配慮型商品と  
循環型機能商品の販売展開

サービス

スズデン  
安心  
サービス  
&  
サポート

サポート

- あかり安心サービス
- エネルギー（乾電池・バッテリー）安心サービス
- フィルター安心サービス
- グリーンサービス
- ラップコートサービス

- グリーン購買サポート
- 診断サポート
- 再資源化サポート
- 物流サポート
- クリーンエネルギーサポート

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当期末 平成22年3月31日現在	前期末 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,098,304	14,199,634
固定資産	8,955,144	9,055,464
有形固定資産	7,599,223	7,728,343
無形固定資産	164,864	170,707
投資その他の資産	1,191,057	1,156,413
資産合計	23,053,449	23,255,098
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,681,922	4,606,824
固定負債	2,479,526	3,847,009
負債合計	8,161,448	8,453,834
<b>純資産の部</b>		
株主資本	14,845,526	14,839,864
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,532,607	1,532,607
利益剰余金	11,715,009	11,709,347
自己株式	△221,320	△221,320
評価・換算差額等	46,474	△38,600
その他有価証券評価差額金	60,713	△21,775
為替換算調整勘定	△14,239	△16,825
純資産合計	14,892,000	14,801,264
負債純資産合計	23,053,449	23,255,098

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

### 連結損益計算書

(単位：千円)

	当期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	前期 平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
売上高	25,068,312	33,034,747
売上原価	20,968,409	27,662,717
売上総利益	4,099,902	5,372,030
販売費及び一般管理費	4,114,856	4,751,833
営業利益又は営業損失(△)	△14,953	620,197
営業外収益	233,731	241,975
営業外費用	97,966	115,215
経常利益	120,812	746,957
特別利益	170,425	5,156
特別損失	70,164	33,060
税金等調整前当期純利益	221,073	719,053
法人税等	127,708	320,020
当期純利益	93,364	399,032

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	前期 平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	978,720	2,503,982
投資活動による キャッシュ・フロー	△123,457	△2,104,569
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,334,719	△596,844
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,310	△20,325
現金及び現金同等物の 増・減(△)額	△478,145	△217,757
現金及び現金同等物の 期首残高	4,480,718	4,698,475
現金及び現金同等物の 期末残高	4,002,572	4,480,718

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日残高	1,819,230	1,532,607	11,709,347	△221,320	14,839,864	△21,775	△16,825	△38,600	14,801,264
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△87,702		△87,702				△87,702
当期純利益			93,364		93,364				93,364
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						82,488	2,586	85,074	85,074
連結会計年度中の変動額合計	—	—	5,662	—	5,662	82,488	2,586	85,074	90,736
平成22年3月31日残高	1,819,230	1,532,607	11,715,009	△221,320	14,845,526	60,713	△14,239	46,474	14,892,000

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 財務チェックポイント

### ● 流動資産

前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が4億75百万円減少したこと、受取手形及び売掛金の増加3億31百万円、商品の増加87百万円によるものです。

### ● 固定資産

前連結会計年度末に比べ全体で1億円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産において宮城県黒川郡大和町の土地を取得した一方、既存施設の売却等に加え減価償却が進展し1億29百万円減少したことによります。

また、投資その他の資産については、株価回復による投資有価証券の連結貸借対照表計上額の増加1億43百万円と繰延税金資産の減少90百万円により、34百万円の増加となりました。

### ● 負債合計

前連結会計年度末に比べ2億92百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加9億87百万円と借入金の減少11億94百万円によるものです。

### ● 純資産合計

前連結会計年度末に比べ90百万円の増加となりました。主な要因は、期中に支払った配当87百万円による減少と当期純利益93百万円及び株価の回復を受けたその他有価証券評価差額金の増加82百万円によるものです。

### ● 自己資本比率

前連結会計年度末の63.6%から64.6へ1.0%上昇いたしました。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、営業債権の増加3億31百万円、たな卸資産の増加85百万円による資金減少、仕入債務の増加9億86百万円、税金等調整前当期純利益2億21百万円、減価償却の発生2億10百万円による資金増加によります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

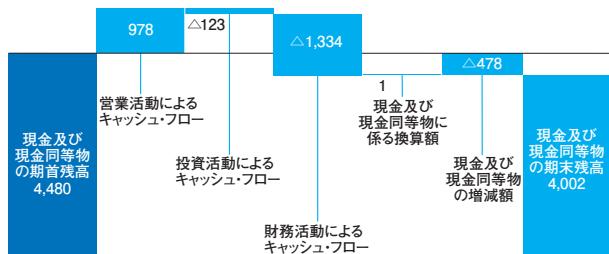
主に、宮城県黒川郡大和町に工場設立の目的で取得した土地購入代金の支払い2億63百万円及び千葉県松戸市の東京物流センターの建設資金残額の支払い1億92百万円と既存設備売却による収入3億75百万円によります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、期中における資金調達による5億円の増加、約定弁済による借入金の返済4億94百万円と借入金の期前弁済12億円によります。

## ■ キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



■ 会社概要

社名	スズデン株式会社
英文社名	SUZUDEN CORPORATION
創業	昭和23年1月
設立	昭和27年12月
資本金	1,819,230,000円
従業員数	349名(単体)
主な事業内容	FA機器、情報・通信機器、電子・デバイス機器、電設資材等の販売及び輸出入業務
連結子会社	スズデンビジネスサポート株式会社 SUZUDEN SINGAPORE PTE LTD SUZUDEN HONG KONG LIMITED (鈴電香港有限公司) 斯容電貿易(上海)有限公司(SUZUDEN TRADING(SHANGHAI)CO.,LTD)

■ 取締役・監査役 (平成22年6月25日現在)

代表取締役会長	鈴木敏雄
代表取締役社長	佐々木秀明※
取締役副社長	臼田憲司※
取締役	鈴木茂※
取締役	梅田常和
常勤監査役	加山宏
監査役	都築隆也
監査役	桃井邦義
監査役	前田紘利

- (注) 1.※印は執行役員を兼務しています。  
 2.取締役 梅田常和氏は、社外取締役です。  
 3.監査役 都築隆也、桃井邦義、前田紘利の3氏は、社外監査役です。  
 4.取締役 梅田常和および監査役 桃井邦義の両氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。

■ 執行役員 (平成22年6月25日現在)

執行役員社長	佐々木秀明
上席執行役員副社長	臼田憲司
上席執行役員	平野利晴
上席執行役員	鈴木茂
上席執行役員	今泉嘉信
上席執行役員	浅井伸晃
執行役員	春日忠司
執行役員	岩沢祐二
執行役員	下城智治
執行役員	矢野晃

■ 営業拠点



## 株式の状況

発行可能株式総数	47,590,000株
発行済株式の総数	15,152,600株
株主数	6,636名

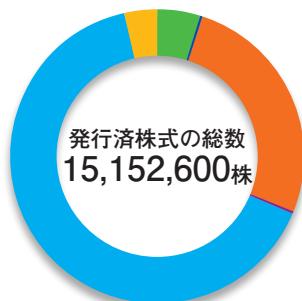
## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
鈴木 敏雄	1,963	13.4
ベル株式会社	1,470	10.1
オムロン株式会社	1,329	9.1
岡野 妙子	754	5.2
鈴木 達夫	732	5.0
鈴木 たか	706	4.8
スズデン社員持株会	297	2.0
株式会社サンセイテクノス	271	1.9
梶山 勝嗣	245	1.7
岡野 淳志	182	1.2

(注) 当社は、自己株式(535,540株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況

■ 金融機関	735,900株	4.9%
■ 証券会社	33,321株	0.2%
■ その他の国内法人	3,958,812株	26.1%
■ 外国法人等	33,286株	0.2%
■ 個人その他	9,855,741株	65.1%
■ 自己名義株式	535,540株	3.5%



## 株主優待制度

### 1 対象者

当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象とさせていただきます。(年1回実施)

### 2 贈呈内容

保有年数	優待商品
当社株式保有年数が2年に満たない場合	QUOカード(1枚 1,000円)1枚
当社株式保有年数が2年を超える場合	QUOカード(1枚 1,000円)2枚

### 3 贈呈の時期および方法

毎年、当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、7月上旬までに発送いたします。

### 4 保有基準の確認

毎年、当社決算期末の3月31日を基準として、過去2年間の中間期および期末期において、継続して所有し、株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。

(例) 平成22年3月期末における2年を超える保有の確認は、平成20年3月31日の株主名簿から平成22年3月31日までの中間期・期末期の株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。(次回以降も毎年決算期末の3月31日を基準として、同様の方法で確認いたします。)

## 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月中に開催
- 剰余金の配当の基準日** 1.期末配当 3月31日  
2.中間配当 中間配当を実施するときは9月30日
- 単元株式数** 100株
- 基準日** 1.定時株主総会については3月31日  
2.その他必要がある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
- 株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 特別口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

- 上場証券取引所** 東京証券取引所 市場第一部
- 公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL (<http://www.suzuden.co.jp/>)

## ホームページのご紹介

投資家の皆様に、充実したIR情報をいち早くお届けします。

投資家の皆様に、より詳しい情報や新しい動きをお届けするホームページです。最新情報や財務データなど各種資料はもとより、月次の売上実績に加え、株式諸手続きのご案内など充実した内容にしております。皆様のアクセスをお待ちしております。



<http://www.suzuden.co.jp/ir/index.html>



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目2番2号  
TEL 03-5689-8001 FAX 03-5802-6764  
ホームページアドレス <http://www.suzuden.co.jp/>  
FA Ubonアドレス <http://fa-ubon.jp/>



本冊子は環境に配慮し、再生紙と大豆油インクを使用しています。